

スクール フェスティバル

Vol.19

一筆に、魂を込める

鹿屋女子高校 書道部



▲それぞれ書体や筆づかいが異なるため、お互いに参考にしながら練習を行っている。

書道の魅力は、書をしたためている間は集中して心を落ち着かせることができることです。3年生が10月で引退し、次の大会に向けてプレッシャーもありますが、心を落ち着けて部員一丸となって、書に打ち込んでいきたいと思っています。

鹿屋女子高校書道部は、3年生13人、2年生4人、1年生11人の計28人で活動しています。高校から書道を始めた部員が大半を占めていますが、今年は「全日本高校・大学生書道展」で個人の大賞・優秀賞を獲得したほか、団体賞では第6位を獲得することができました。



部長
安藤 あいみ さん(2年生)

公民

地理

歴史

文化

文化財

まちづくり

人物

その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第19路 鹿屋から世界へ 本市出身ボクサー



▲霧島ヶ丘公園内には、本市ゆかりのオリンピック選手の記念モニュメントや手形が設置されています。

9月19日～10月4日に32年ぶりに日本(愛知県・名古屋市)で開催されていた「第20回アジア競技大会」。4年に1度開催されるアジア最大のスポーツの祭典で、アジアの45の国と地域が参加し、様々な競技・種目で磨き上げられた技を競い合いました。本市にゆかりのある選手として、鹿屋体育大学4年の梅澤幹太選手が自転車競技で金・銀メダル、中学時代を本市で過ごした西小野皓大選手が競泳男子200m背泳ぎで金メダル、本市を拠点に活動しオリンピックにも出場した岡澤セオン選手が、ボクシング男子70キロ級で銅メダルを獲得しました。

近年、本市ゆかりの選手が世界の舞台で活躍する姿を目にすることが増えてきましたが、過去に行われたアジア競技大会に

おいて、本市出身のボクサーが銅メダルを獲得していたことをご存じでしょうか。内山昇選手は昭和29年生まれの鹿屋中学校・鹿屋工業高校の出身で、高校在学中にアマチュアデビュー。その後、中央大学ボクシング部に所属し、昭和49～51年の「全日本アマチュアボクシング選手権大会」のライトフライ級で3連覇を果たしました。また、昭和49年にイラン(テヘラン)で開催された「第7回アジア競技大会」では、銅メダルを獲得したほか、昭和50年のアジア選手権で銀メダル、昭和51年の「モントリオールオリンピック」への出場も果たしています。



▲カナダで開催された「モントリオールオリンピック」での内山選手